

## ■ 第 2 次黒部市地域公共交通網形成計画の進捗状況について（令和 3 年度）

進捗状況凡例【○：計画通り進捗しているもの、△：課題があり進捗に影響が出たもの、×：進捗がなかったもの、又は一定の水準から悪化したもの、－：計画実施時期が到来していないもの】

基本方針	基本施策	番号	実施事業	令和 3 年度の取組	進捗状況	令和 3 年度の実施内容
① 鉄道を軸とした公共交通網の維持	① 都市の骨格となる鉄道の持続的な運行	1	北陸新幹線と市内交通機関との連携 【令和 3 年度の個別の取組（主なもの）】 ・黒部宇奈月温泉駅乗降者数調査の実施（市） ・新幹線通勤・通学支援補助金の実施（市） ・黒部宇奈月温泉駅に停車するダイヤの維持（交通事業者） ・新幹線への接続を考慮した路線バスの運行（交通事業者）	新幹線乗降調査の実施	○	・継続して定期的に黒部宇奈月温泉駅の乗降者数調査を実施した。（市）
				通勤・通学支援	○	・黒部宇奈月温泉駅から県外へ通勤通学を行う方に「黒部市新幹線通勤通学支援補助金」で支援を行った。（市）
				市民の利用促進	○	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用促進に向けた取組については、積極的に進めることはできなかった。（市、公共交通戦略推進協議会） ・黒部宇奈月温泉に停車する「はくたか」の現行ダイヤを維持した。（交通事業者） ・ダイヤ改正による東京～黒部宇奈月温泉駅間の時間短縮（交通事業者）
		2	あいの風とやま鉄道と市内交通機関との連携 【令和 3 年度の個別の取組（主なもの）】 ・現行ダイヤの維持と各種取組を通じた利用促進（交通事業者） ・鉄道への接続を考慮した路線バスの運行（交通事業者）	市民の利用促進	○	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用促進に向けた取組については、積極的に進めることはできなかった。（市、公共交通戦略推進協議会） ・道の駅 KOKO くらべ開業に向けた鉄道とバスの接続について、ルートを策定した。（交通事業者、公共交通戦略推進協議会） ・市広報を通じ、利用促進を PR した。（市、交通事業者） ・コロナ禍においても、安心して利用してもらうために感染拡大防止対策を実施した。（交通事業者）
		3	富山地方鉄道本線のさらなる利便性向上 【令和 3 年度の個別の取組（主なもの）】 ・各種取組（くろワン等）を通じた利用促進（交通事業者、市民団体） ・通学実態に合わせたダイヤの設定（交通事業者）	市民の利用促進	○	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用促進に向けた取組については、積極的に進めることはできなかった。（市、公共交通戦略推進協議会） ・ダイヤ改正による通勤通学時間帯の利便性の向上を図った。（交通事業者） ・県、沿線自治体と地鉄本線のあり方を研究する会議を設立した。（交通事業者） ・コロナ禍においても、安心して利用してもらうために感染拡大防止対策を実施した。（交通事業者）
	② 路線バスの持続的な運行	4	新幹線市街地線の維持及び利便性向上 【令和 3 年度の個別の取組（主なもの）】 ・ホームページ、チラシ等による利用促進（公共交通戦略推進協議会）	市民の利用促進	○	・コロナ禍においても、安心して利用してもらうために感染拡大防止対策を実施した。（交通事業者）
			利用ニーズの再検討	○	・主要路線ワークショップで利用ニーズの課題を整理した。（公共交通戦略推進協議会）	
	5	新幹線生地線の維持及び利便性向上 【令和 3 年度の個別の取組（主なもの）】 ・ホームページ、チラシ等による利用促進（公共交通戦略推進協議会） ・利用者動態調査の実施（公共交通戦略推進協議会）	市民の利用促進	○	・主要路線ワークショップで利用促進における課題を整理した。（公共交通戦略推進協議会） ・路線バス動態調査を実施し、利用実態を把握した。（公共交通戦略推進協議会） ・コロナ禍においても、安心して利用してもらうために感染拡大防止対策を実施した。（交通事業者）	

		6	<b>生地循環線の維持及び利便性向上</b> <b>【令和3年度の個別の取組（主なもの）】</b> ・「道の駅 KOKO くるべ」への乗り入れに向けた検討（交通事業者、公共交通戦略推進協議会） ・ホームページ、チラシ等による利用促進（公共交通戦略推進協議会） ・利用者動態調査の実施（公共交通戦略推進協議会）	市民の利用促進	○	・路線バス動態調査を実施し、利用実態を把握した。（公共交通戦略推進協議会） ・コロナ禍においても、安心して利用してもらうために感染拡大防止対策を実施した。（交通事業者）	
				事業17と連携した運行ルートの見直し	○	・「道の駅 KOKO くるべ」への乗り入れルートを策定した。（事業者、公共交通戦略推進協議会）	
		7	<b>石田三日市線の維持及び利便性向上</b> <b>【令和3年度の個別の取組（主なもの）】</b> ・「道の駅 KOKO くるべ」への乗り入れに向けた検討（交通事業者、公共交通戦略推進協議会） ・ホームページ、チラシ等による利用促進（公共交通戦略推進協議会）	市民の利用促進	○	・コロナ禍においても、安心して利用してもらうために感染拡大防止対策を実施した。（交通事業者）	
				事業17と連携した運行ルートの見直し	△	・「道の駅 KOKO くるべ」への乗り入れについては、開業後の利用動向を踏まえた上で検討することとした。（交通事業者、公共交通戦略推進協議会）	
		8	<b>池尻線の維持及び利便性向上</b> <b>【令和3年度の個別の取組（主なもの）】</b> ・ホームページ、チラシ等による利用促進（公共交通戦略推進協議会）	市民の利用促進	○	・沿線の自治振興会による利用促進に向けた働きかけを実施した。（市民） ・コロナ禍においても、安心して利用してもらうために感染拡大防止対策を実施した。（交通事業者）	
		9	<b>南北循環線の維持及び利便性向上</b> <b>【令和3年度の個別の取組（主なもの）】</b> ・ホームページ、チラシ等による利用促進（公共交通戦略推進協議会）	市民の利用促進（日中帯）	○	・現行の官民共同体制のあり方について、検討を継続した。（市、公共交通戦略推進協議会、YKK株） ・主要路線ワークショップで利用促進における課題を整理した。（公共交通戦略推進協議会） ・コロナ禍においても、安心して利用してもらうために感染拡大防止対策を実施した。（交通事業者）	
		③コミュニティ交通の持続的な運行	10	愛本コミュニティタクシーの維持及び利便性向上	市民の利用促進	○	・沿線地区の公民館や住民に時刻表を配布し、周知を図った。（市、公共交通戦略推進協議会） ・コロナ禍においても、安心して利用してもらうために感染拡大防止対策を実施した。（交通事業者）
			11	デマンドタクシーの維持及び利便性向上	市民の利用促進	○	・対象地区の住民に対し、利用促進に向けた周知を継続した。（公共交通戦略推進協議会） ・コロナ禍においても、安心して利用してもらうために感染拡大防止対策を実施した。（交通事業者）
		④観光地を結ぶ交通網の維持	12	アルペンライナー（宇奈月温泉立山室堂線）の維持及び利便性向上	観光客へのPR	△	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的なPRは控えざるを得なかった。（市）
観光客の利用促進	△				・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観光客に積極的な利用を促すことはできなかった。（市）		
黒部宇奈月温泉駅からの宇奈月、立山方面へのアクセスの検討	△				・新型コロナウイルス感染拡大により利用者数が落ち込む中、さらなるアクセス向上等の検討を行える状況ではなかった。（市）		

基本方針	基本施策	番号	実施事業	令和3年度の取組	進捗状況	令和3年度の実施内容
②公共交通網を支える潜在的需要の開拓	⑤公共交通の利用促進	13	情報提供や利用促進に向けた取組の充実 【令和3年度の個別の取組（主なもの）】 ・2022年度版公共交通マップの作成（公共交通戦略推進協議会） ・とやまロケーションシステムの周知（公共交通戦略推進協議会） ・コミュニティ通信等による情報提供（公共交通戦略推進協議会） ・ホームページ、チラシ等による利用促進（公共交通戦略推進協議会） ・通学実態に合わせたダイヤの検討（R3ダイヤに反映）（交通事業者）	公共交通マップの作成	○	・2022年度版公共交通マップを作成した。（公共交通戦略推進協議会）※令和4年3月完成予定 ・「公共交通で行こう」HPでの路線図掲載を行った。（公共交通戦略推進協議会）
				ホームページ等を活用した利用促進	○	・「公共交通で行こう」HPにおける情報提供を行った。（公共交通戦略推進協議会）
				とやまロケーションシステムの周知	○	・コミュニティ通信等を通じ、システムの周知に努めた。（市、公共交通戦略推進協議会）
				転入者や沿線企業に対する情報提供	○	・コミュニティ通信等による情報提供を実施した。（公共交通戦略推進協議会）
				通勤や通学での公共交通利用の促進	○	・明峰中学校の通学実態に合わせたダイヤでの運行を行った。（交通事業者）
				乗車体験会や出前講座の開催	×	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験乗車会を実施することができなかった。
				公共交通イベントの情報提供	△	・新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベントの縮小や中止が相次いだが、くろワンやにいかわプロモーションオーガニゼーションと連携したほか市広報やHP及びコミュニティ通信等を通じ開催されるイベントの情報提供に努めた。（市、公共交通戦略推進協議会）
		14	利用促進に向けた運賃設定と企画切符等の発行 【令和3年度の個別の取組（主なもの）】 ・くろワン切符、新幹線生地線1日乗車券の発行（市民団体、交通事業者） ・回数券、ICカードの発行（交通事業者）	運賃体系や類似区間の運賃の整理（事業18との連動）	○	・主要路線ワークショップより、今後の運賃体系の方向性を整理した。（公共交通戦略推進協議会） ・「くろワンきっぷ」を発行し、鉄道の利用促進に努めた。（市民）
		15	運転免許自主返納と連携した利用促進 【令和3年度の個別の取組（主なもの）】 ・広報、コミュニティ通信等を通じた制度周知（市、公共交通戦略推進協議会） ・黒部市運転免許自主返納支援事業を通じたフリーパスの交付（市）	広報等による市民への周知	○	・関係部署と連携し、市広報及びコミュニティ通信等を通じ、市民への制度周知に努めた。（市、公共交通戦略推進協議会）
				自治振興会や老人クラブへの周知	○	・関係部署と連携し、市広報及びコミュニティ通信等を通じ、制度周知に努めた。（市、公共交通戦略推進協議会）
	市内路線バスのフリーパス交付の推進			○	・黒部市高齢者運転免許自主返納支援事業を通じ、フリーパスの交付を継続した。（市）	
	16	黒部宇奈月温泉駅駐車場の運用方法の検討	有料化の検討	○	・黒部宇奈月温泉駅第2駐車場の有料化に向けた整備を行った。（市）※令和4年3月完成予定	
	⑥まちづくりと連動した交通環境の整備	17	交流施設の整備に合わせたバス路線の見直し 【令和3年度の個別の取組（主なもの）】 ・生地循環線の「道の駅KOKOくろべ」への乗り入れルートの方策定（市、公共交通戦略推進協議会、交通事業者）	（道の駅KOKOくろべ） 具体的な路線とルート及びダイヤの検討	○	・生地循環線について、道の駅KOKOくろべに向かう運行ルートの考え方を協議した。（第34回協議会）（公共交通戦略推進協議会） ・生地循環線について、道の駅KOKOくろべに向かう運行ルート・ダイヤ（事業計画の変更）の協議。（第35回協議会）（公共交通戦略推進協議会） ・令和4年度の新ルート及びダイヤでの運行開始に向け、運輸局への許認可手続き。（交通事業者）※予定 【参考】周辺の施設整備状況及び今後の予定 令和2年10月 大型商業施設オープン 令和4年4月 道の駅KOKOくろべオープン
運輸局への許認可手続き						
新たなルート及びダイヤでの運行開始						

				((仮称)くろべ市民交流センター) 具体的な路線とルート及びダイヤの検討	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に確認した最寄りバス停の活用を基本的な考え方とし、付近を運行する路線の課題を整理した。(市)</li> <li>【参考】施設の整備状況 令和3年9月 (仮称)くろべ市民交流センター整備工事着手</li> </ul>
--	--	--	--	--------------------------------------	---	---

基本方針	基本施策	番号	実施事業	令和3年度の取組	進捗状況	令和3年度の実施内容	
③公共交通網の持続に向けた運行体系の確立	⑦運行事業の効率化	18	バス路線等の定期的な見直し 【令和3年度の個別の取組(主なもの)】 ・路線バス動態調査の実施(公共交通戦略推進協議会) ・路線ごとの収支状況の整理(公共交通戦略推進協議会) ・路線の改善に向けた課題の整理(公共交通戦略推進協議会、交通事業者)	利用者数と収支の状況把握	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>各路線別に利用者数及び収支状況を分析することにより、その路線が抱える課題を整理した。(第34回協議会)(市、公共交通戦略推進協議会)</li> <li>路線バス動態調査を実施し、利用実態を把握した(新幹線生地線、生地循環線)(公共交通戦略推進協議会)</li> <li>主要路線ワークショップにより、問題点・課題の解決に向けた検討を行った。(南北循環線、新幹線生地線)(公共交通戦略推進協議会)</li> <li>主要路線ワークショップより、今後の路線バスの見直しの方向性を整理した。(公共交通戦略推進協議会)</li> </ul>	
		19	路線バスとスクールバス等との一体的な運行に向けた検討	—	—	—	
	⑧公共交通の担い手の確保	20	運転手確保の取組みへの支援	雇用・育成等に関する制度の周知	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>周知方法の検討を行ったが、具体的な周知は実施していない。(公共交通戦略推進協議会)</li> <li>主要路線ワークショップで課題を整理した。(公共交通戦略推進協議会)</li> </ul>	
				就職フェア等の取組の支援	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種取組への支援手法の検討を行ったが、具体的な支援は実施していない。(公共交通戦略推進協議会)</li> <li>主要路線ワークショップで課題を整理した。(公共交通戦略推進協議会)</li> </ul>	
				ホームページやニュースレターを通じた広報活動	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ通信による広報活動を継続した。(公共交通戦略推進協議会)</li> </ul>	
			21	地域バス・タクシー導入可能性の検討	—	—	—

基本方針	基本施策	番号	実施事業	令和3年度の取組	進捗状況	令和3年度の実施内容
④新幹線効果の維持・向上	⑨新たな観光地へのアクセス環境の向上	22	黒部ルート一般開放に伴う既存公共交通の利用促進	既存公共交通(地鉄、アルペンライナー)の乗継利便性の検討	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事業者と乗継手法の可能性について検討した。(市・交通事業者)</li> </ul>

基本方針	基本施策	番号	実施事業	令和3年度の取組	進捗状況	令和3年度の実施内容
⑤利便性と魅力を高める公共交通環境の提供	⑩公共交通利用環境の充実	23	バス待合環境の改善	上屋やベンチ、案内板の再整備	○	・「電鉄黒部駅前」バス停で上屋・ベンチを整備し、待合環境の改善を図った。(市) ※令和4年3月完成予定
		24	無料公共自転車「ちょいのり黒部」の整備・運用	ちょいのり黒部の整備・運用	○	・ちょいのり黒部の継続により、中心市街地の近距離移動手段として、市民に認知されつつある。(公共交通戦略推進協議会)
				制度の周知	○	・「公共交通で行こう」HPやコミュニティ通信による周知を実施した。(公共交通戦略推進協議会)
		25	駅施設の修繕・改善とパーク＆ライド駐車場の整備 【令和3年度の個別の取組(主なもの)】 ・東三日市駅トイレ整備(事業者、市) ・生地駅周辺の公共交通活性化に関する研究(事業者、市民) ・あいの風とやま鉄道黒部駅西側広場等の基本設計(市)	鉄道事業者と駅施設の改善についての検討	○	・富山地方鉄道東三日市駅トイレを改修し、駅の待合環境を改善した。(交通事業者) ・民間企業と地元住民が生地駅周辺のまちづくりについて、先進地視察を行うなど、検討を継続した。(市民)
				駅施設の修繕・改修	—	・駅施設の大規模修繕・改修の必要性は発生していない。(交通事業者)
				黒部駅西側周辺都市施設の整備検討(東西連絡通路、駅西広場、駅西駐車場等)	○	・黒部駅西側広場基本設計業務委託の中で、整備内容等の検討を行った。(市)
				(P&R駐車場)手法の検討	○	・鉄道事業者と連携して、駅周辺の活用手法について、検討した。(市、交通事業者)
	(P&R駐車場)まちづくりに合わせた公共交通活性化(駅施設利用環境)の課題整理(あいの風とやま鉄道黒部駅、生地駅)			○	・民間企業と地元住民が生地駅周辺のまちづくりについて、先進地視察を行うなど、検討を継続した。(市民)	
	26	交通情報提供システムを利用した利便性の向上	情報提供、サイネージの適正管理	○	・「とやまロケーションシステム」及び市内の主要駅等の「デジタルサイネージ」で、情報提供を行なった。(市、公共交通戦略推進協議会)	
	27	車両及びバス停のデザイン化促進	施設整備等におけるユニバーサルデザイン化の促進	○	・車両については、現行使用の乗降口が低い車両での運行を行い、ユニバーサルデザインを意識した。(交通事業者)	
	⑪新たな技術の導入による利便性・魅力の向上	28	環境配慮型車両、バリアフリー車両や新システム等の導入可能性の検討	先進事例の研究	△	・民間事業者より環境配慮型車両(電気自動車)の導入事例や課題について、説明を受けた。(市)

基本方針	基本施策	番号	実施事業	令和3年度の取組	進捗状況	令和2年度の実施内容
⑥「コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり」の推進	⑫コンパクトなまちづくりの推進	29	居住誘導区域への居住推進	立地適正化計画に沿った支援制度の周知、住環境の整備、居住誘導区域への移住・定住の促進	○	・支援制度の周知、住環境の整備、居住誘導区域への移住・定住の促進に関する取組を継続した。(市)
		30	都市機能集積の推進	立地適正化計画に沿った都市機能の集積の促進	○	・立地適正化計画の成果都市機能の集積の中に位置付けられている教育交流拠点((仮称)くろべ市民交流センター)の整備に着手した。(市)
	⑬公共交通に関する調査・計画・評価検証	31	市民アンケート調査や新幹線の利用状況調査の実施	必要に応じて、特定の事業に対する市民アンケート調査の実施	○	・路線バス動態調査を実施し、利用実態の把握に努めた。(新幹線生地線、生地循環線)(公共交通戦略推進協議会)
				新幹線乗降調査の実施	○	・定期的に乗降調査を実施し、駅利用の実態把握に努めた。(市)
	32	公共交通利用状況の評価、検証	評価・検証	○	・計画のフォローアップを行い、計画の進捗を管理した。(公共交通戦略推進協議会)	
		—	次期計画の策定	—	—	—